

とばざかな た
鳥羽魚を食べよう！

さわら



さわらは漢字で書くと「^{かんじ}鰭」と^{はる}春が入りますが、鳥羽の海では秋から冬にかけて旬を迎えます。漁は^ひ曳き釣りやながし網があります。



ひつりょう 曳き釣り漁

朝早くに^{あさはや}出発し、船の^{しゅっぱつ}両側に^{ふね}竿をのばして^{りょうがわ}釣り糸を海に流して船を走らせながら^{さお}と^つ獲ります。^{いと}一尾ずつ^{うみ}釣り上げられるので^{なが}傷が少なく^{ふね}良い状態で^{はし}水揚げされます。



あみりょう ながし網漁

夕方、^{ゆうがた}港を出発し、^{みなと}スタートラインについたら、^{しゅっぱつ}よーいドンで^{りょうば}漁場に向かいます。

よーいドン



漁場に到着したら^{ぎょじょう}網を^{とうちやく}なげいれ、^{あみ}ながします。
約900mのとっても長い網です。



ながし網漁は夜の^{あみりょう}仕事です。